

エイズ先端医療開発室

エイズ先端医療研究部長 白阪琢磨

エイズ先端医療研究部はエイズ先端医療開発室と HIV 感染制御室から構成されている。

海外同様、わが国、特に大阪で HIV 感染症患者の報告数は増加の一途である。HIV 感染症に対する抗 HIV 療法の進歩によって HIV 感染症の予後は大きく改善し、HIV 感染症は医学的管理のできる慢性疾患と捉えられるまでになったが、治癒は未だにない。

当院は薬害 HIV 裁判の和解に基づく恒久対策の一環として、平成 9 年にエイズ診療における近畿ブロックのブロック拠点病院に選定された。当院は診療（全科対応体制）、臨床研究、教育・研修、情報発信の 4 つの機能を担っている。具体的には院内に設けられた HIV/AIDS 先端医療開発センターが核となって関連部署と緊密な連携を取りながら任務を遂行している。診療部門では HIV 感染症は全身疾患であり全科で対応しており、HIV 感染症の専門的診療は感染症内科が担う。その他の機能はエイズ先端医療研究部がコーディネートしている。臨床研究では厚生労働科学研究費補助金によるエイズ対策研究事業（平成 25 年度は指定研究「HIV 感染症および合併症の課題を克服する研究」（研究代表者白阪琢磨、研究分担者渡邊大、仲倉高広、下司有加）、指定研究「HIV 感染症の医療体制に関する研究」（研究分担者上平朝子、吉野宗宏）などを実施し、多くの成果を上げ、その研究成果の一部は学会あるいは論文として発表した。臨床研究の主なテーマは HIV 感染症の病態解析や治療に関する研究と患者中心の医療の提供に関する研究である。前者は渡邊大が HIV 感染制御室で実施し、後者をエイズ先端医療開発室で実施している。HIV 感染症の治療の中心である抗 HIV 療法は服薬が基本である。免疫能を回復させ、健康を維持し続けるためには、その服薬率（服薬アドヒアランス）は 95%以上である事が求められる。感染者の多くは若者であるが、社会経済的、心理学的、精神的な困難を有する例も多く、医師、看護師のみならず、薬剤師、臨床心理士、ソーシャル・ワーカーなどから成るチームでの医療の提供が必要であり、研究を継続している。また、HIV 感染症患者の様々な病態に対応するには医療施設間での診療連携や福祉施設との相互の連携も必要であり長期療養についても研究を継続している。血液製剤による感染者の多くは C 型肝炎にも重複感染している。HIV 感染症での死亡例が減少した一方で、最近では C 型慢性肝炎での死亡例が増えるなど対策が急がれており、厚生労働科学研究費補助金によるエイズ対策研究事業指定研究班（木村班、江口班）の研究分担を担当している。教育・研修では院内向け院外向け共に院内での研修については、看護部、医療相談室、臨床心理室等と共に職員研究部と協働で実施し、多くの参加者を得ている。とりわけ長期療養について訪問看護師研修などを全国で実施している。情報発信については当院のホームページ内に HIV/AIDS 先端医療開発センターを

(<http://www.onh.go.jp/khac/>) 設け、厚労科研の成果の一部 (HAART Support) や HIV 感染症/AIDS に関する情報を発信しており、ホームページを 1999 年に開設以来アクセス数は 50 万件を超え、多くの方の利用を得ている。

平成 25 年 4 月には大阪大学大学院医学系研究科の連携大学院 (エイズ先端医療学) が併設され、来年度からの大学院生の受け入れに向け整備を進めている。

今後も、HIV/AIDS 先端医療開発センターの研究部門として HIV 感染症/AIDS に関する臨床研究、教育・研修、情報発信を進め、特に急性感染期の HIV 感染症の診断と治療を新たなテーマとして研究を推進して行きたい。

【2013 年度研究発表業績】

A-1

Tominari S, Nakakura T, Yasuo T, Yamanaka K, Takahashi Y, Shirasaka T, Nakayama T : Implementation of mental health service has an impact on retention in HIV care: a nested case-control study in a Japanese HIV care facility. PLOS ONE 8(7)1-6 (2013年7月)

Watanabe D, Otani N, Suzuki S, Dohi H, Hirota K, Yonemoto H, Koizumi Y, Otera H, Yajima K, Nishida Y, Uehira T, Shima M, Shirasaka T, and Okuno T : Evaluation of VZV-specific cell-mediated immunity in adults infected with HIV-1 by using a simple IFN- γ release assay. J Med Virol. 85(8):1313-20 (2013年8月)

Ota Y, Hishima T, Mochizuki M, Kodama Y, Moritani S, Oyaizu N, Mine S, Ajisawa A, Tanuma J, Uehira T, Hagiwara S, Yajima K, Koizumi Y, Shirasaka T, Kojima Y, Nagai H, Yokomaku Y, Shiozawa Y, Koibuchi T, Iwamoto A, Oka S, Hasegawa H, Okada S, Katano H. Classification of AIDS-related lymphoma cases between 1987 and 2012 in Japan based on the WHO classification of lymphomas, fourth edition. Cancer Med. 2014 Feb;3(1):143-53. (2014年2月)

Imahashi M, Izumi T, Watanabe D, Imamura J, Matsuoka K, Ode H, Masaoka T, Sato K, Kaneko N, Ichikawa S, YKoyanagi Y, Takaori-Kondo A, Utsumi M, Yokomaku Y, Shirasaka T, Sugiura W, Iwatani Y, and Naoe T : Lack of Association between Intact/Deletion Polymorphisms of the APOBEC3B Gene and HIV-1 Risk. PLoS ONE. 9(3): e92861. (2014年3月)

A-2

白阪琢磨 : 抗 HIV 用薬。「治療薬ハンドブック 2014」、株式会社じほう、2014 年 2 月

A-3

金島 広、吉田全宏、小川吉彦、中尾隆文、中野 智、井上 健、山根孝久:自家末梢血幹細胞移植が奏効した POEMS 症候群。「癌と化学療法」第 40 巻 4 号 P503-506、(株)癌と化学療法社、2013 年 4 月

吉田全宏、金島 広、中尾隆文、小川吉彦、日野雅之、中根孝彦、太田忠信、久村岳央、間部賢寛、山村亮介、山根孝久:エルトロンボパグを使用した難治性特発性血小板減少性紫斑病の後方視的検討。「臨床血液」Vol.54,No.5 P444-450、日本臨床血液学会、2013 年 5 月

木村哲、山本政弘、橋野聡、伊藤俊弘、上平朝子: HIV 感染症の検査・診断・治療における「連携」の諸問題について考える。「医薬の門」Vol.53,No.6 P357-365、(株)鳥居薬品、2013 年 8 月

小川吉彦、吉田全宏、金島 広、中尾隆文、白野倫徳、後藤哲志、福島裕子、井上 健、山根孝久:当院における HIV 感染合併非ホジキンリンパ腫の臨床的検討。「癌と化学療法」40 巻 8 号 P1027-1030、2013 年 8 月号

天野景裕、田沼順子、渡邊大:将来を見据えた HIV 診療マネジメント-For the future today -「大阪医療センターにおけるアバカビル投与症例の現状」第 27 回日本エイズ学会学術集会・総会共催セミナー9 記録集、2013 年 12 月

渡邊大:大阪医療センターにおけるインテグラーゼ阻害剤の耐性例。「HIV 感染症と AIDS の治療」印刷中、(株)メディカルレビュー社

A-4

白阪琢磨:「服薬をはじめるまえに」第 4 版、鳥居薬品(株)患者様用服薬支援冊子、2013 年 5 月

ICHG 研究会:新井裕子、井内律子、大澤栄子、笠井正志、金澤美弥子、佐々木富子、鹿倉節子、白阪琢磨、杉山香代子、竹本真美、田中裕子、長谷川ゆり子、藤田直久、村田郁子、三浦正義、村山郁子、山崎真紀子、山之上弘樹、由良嘉兵衛、波多江新平:標準予防策・接触感染予防策・医療従事者の服装・手洗い。「クリニックマガジン」40 巻 5 号 P45-49、2013 年 5 月

白阪琢磨:INFORMATION HIV 感染症「治療の手引き」〈第 16 版〉。Confronting HIV 2013 No.43 11-13、2013 年 6 月

白阪琢磨: HIV 感染症の長期的治療戦略 3.治療処方 of 単純化の動向。「化学療法の領域」 Vol.29 No.9 P45-52、(株)医薬ジャーナル社、2013 年 9 月

白阪琢磨: DVD「温故知新～薬害から学ぶ～DVD シリーズ⑤薬害エイズ事件」インタビュー出演。一般財団法人医薬品医療機器レギュラトリーサイエンス財団 薬害教育映像コンテンツ、2013 年 10 月

小川吉彦、上平朝子: Q&A 形式 Case Study 進行期悪性リンパ腫の合併症例。「HIV 感染症と AIDS の治療」 Vol.4, No.2 P30-32、(株)メディカルレビュー社、2013 年 11 月

上平朝子: 結核治療中に発症した急性 C 型肝炎:「HIV 感染症と AIDS の治療」 Vol.4 No.2 P39-41、(株)メディカルレビュー社、2013 年 11 月

白阪琢磨: HIV/AIDS の現状と最新医療。「大津市医師会誌」 Vol.36 第 426 号 P11-14、2013 年 11 月

白阪琢磨: 特集記事エイズ「予防と治療の効果で、AIDS による死亡者数は減少...しかし国内では、新規 HIV 感染者・AIDS 患者とも予断を許さない状況です - 最新の都道府県別累積報告数もお知らせします。「健」 42(9)P22-23、2013 年 12 月

矢嶋敬史郎、大寺博: エイズに見られる感染症と悪性腫瘍 (2) クリプトコッカス症。「化学療法の領域」 Vol.29, No.12 P4-10、(株)医薬ジャーナル社、2013 年 12 月

今村顕史、照屋勝治、渡邊大、鯉淵智彦: 座談会『HIV 感染症治療の最前線』。「化学療法の領域」 Vol.30, No.1 P129-138、(株)医薬ジャーナル社、2013 年 12 月

渡邊大、小川吉彦: エイズに見られる感染症と悪性腫瘍 (5) 『トキソプラズマ脳症』。「化学療法の領域」 Vol.30, No.3 P392-398、(株)医薬ジャーナル社、2014 年 2 月

A-6

白阪琢磨: 中高年にエイズが急増中「死ぬまで SEX」の危険。「AERA」26 巻 42 号 P58-59、2013 年 10 月

白阪琢磨: 中学・高校生に知ってほしい HIV/AIDS 知識。「中学保健ニュース」1577 号付録 1-1、2013 年 11 月

白阪琢磨: きょう世界エイズデー HIV 検査中高年敬遠「自分とは関係ないものだと...」。

産経新聞 14 版 P.22、2013 年 12 月 1 日

白阪琢磨：エイズ治療の理解へシンポ。中日新聞 12 版 P.24、2014 年 2 月

白阪琢磨：第 6 回市民公開シンポジウム「エイズ無き時代を目指して～過去から未来へ～」。中日新聞 P.9、2014 年 2 月

B-1

西田恭治：討論。Global Advisory Board Meeting NovoSeven、スイス、2013 年 5 月

西田恭治：血友病医療の今後に関する提唱（アドバイザープレゼンター）。Global Advocacy Leadership Summit、チェコ、2013 年 12 月

B-3

上平朝子：ランチョンセミナー15 講演。第 87 回日本感染症学会学術集会・第 61 回日本化学療法学会総会合同学会、横浜、2013 年 6 月

西田恭治：HIV 診療における CMV 感染症～何をどこまでどう治療するか？～。第 27 回日本エイズ学会学術集会・総会 ランチョンセミナー、熊本、2013 年 11 月

白阪琢磨：HIV 感染症治療の手引き 第 17 版。第 27 回日本エイズ学会学術集会・総会、熊本、2013 年 11 月

矢嶋敬史郎：日本の臨床試験は必要か ～エジュラントを例に考察する～。第 27 回日本エイズ学会学術集会・総会、熊本、2013 年 11 月

矢嶋敬史郎：HIV 診療における CMV 感染症 ～何をどこまでどう治療するか～。第 27 回日本エイズ学会学術集会・総会、熊本、2013 年 11 月

矢嶋敬史郎：HIV 感染症の新たな幕開け - STR レジメンの登場 - 。第 56 回日本感染症学会中日本・西日本地方会・学術総会、大阪、2013 年 11 月

青木眞、渡邊大、椎木創一：超困難症例に対するアプローチ（共催セミナー）。第 27 回日本エイズ学会学術集会・総会、熊本、2013 年 11 月

渡邊大：将来を見据えた HIV 診療マネジメント-For the future today -（共催セミナー）「大阪医療センターにおけるアバカビル投与症例の現状」。第 27 回日本エイズ学会学術集会・総会、熊本、2013 年 11 月

B-4

白阪琢磨：抗 HIV 治療、最新の治療戦略について。第 87 回日本感染症学会学術集会・第 61 回日本化学療法学会総会合同学会、横浜、2013 年 6 月

白阪琢磨：HIV・HCV 重複感染-最近の動向-。Japan HIV and Hepatitis Study group 第 1 回研究会 HIV とウイルス肝炎-治療の最前線-、東京、2013 年 6 月

笠井大介、小林和幸、船田泰弘、西村善博：難治性肺炎の診断にて気管支肺胞洗浄を施行された症例に関する検討。日本感染症学会総会、横浜、2013 年 6 月

小泉祐介、廣田和之、米本仁史、伊熊素子、大寺博、矢嶋敬史郎、渡邊大、西田恭治、上平朝子、白阪琢磨：播種性 *M. genavense* 感染症を呈した AIDS の 1 例。第 87 回日本感染症学会学術講演会、横浜、2013 年 6 月

米本仁史、渡邊大、廣田和之、小泉祐介、大寺博、矢嶋敬史郎、西田恭治、上平朝子、白阪琢磨：Klebsiella pneumoniae による腎周囲膿瘍と転移性眼内炎を認めた 2 型糖尿病の一例。第 87 回日本感染症学会学術講演会、横浜、2013 年 6 月

渡邊大、大谷成人、廣田和之、米本仁史、小泉祐介、大寺博、矢嶋敬史郎、西田恭治、上平朝子、島正之、白阪琢磨、奥野壽臣：HIV 感染者における水痘・帯状疱疹ウイルスに対する細胞性免疫の評価。第 87 回日本感染症学会学術講演会、横浜、2013 年 6 月

笠井大介：HIV 診療における結核。国立病院総合医学会、金沢、2013 年 11 月

今橋真弓、泉泰輔、渡邊大、今村淳治、松岡和弘、佐藤桂、金子典代、市川誠一、小柳義夫、高折晃史、内海眞、横幕能行、白阪琢磨、直江知樹、岩谷靖雅、杉浦亙：HIV-1 感染伝播・病勢に対する APOBEC3B 遺伝子型の影響に関する解析。第 67 回国立病院総合医学会、金沢、2013 年 11 月

今橋真弓、泉泰輔、渡邊大、今村淳治、松岡和弘、正岡崇志、佐藤桂、金子典代、市川誠一、小柳義夫、高折晃史、内海眞、横幕能行、白阪琢磨、直江知樹、杉浦亙、岩谷靖雅：宿主防御因子 APOBEC3B の遺伝子欠損による HIV-1 感染伝播・病勢への影響に関する研究。第 61 回日本ウイルス学会学術集会、神戸、2013 年 11 月

白阪琢磨、渡邊大、矢嶋敬史郎、吉野宗宏、矢倉裕輝、西本亜矢、廣田和之、伊熊素子、小川吉彦、笠井大介、西田恭治、上平朝子：国立大阪医療センターでのアイセントレス

錠の長期処方例の検討。第 27 回日本エイズ学会学術集会・総会、熊本、2013 年 11 月

櫛田宏幸、吉野宗宏、矢倉裕輝、廣田和之、伊熊素子、小川吉彦、大寺博、矢嶋敬史郎、渡邊大、西田恭治、上平朝子、白阪琢磨：当院における Atovaquone の使用状況調査。第 27 回日本エイズ学会学術集会・総会、熊本、2013 年 11 月

鍛冶まどか、仲倉高広、宮本哲雄、安尾利彦、森田眞子、大谷ありさ、藤本恵里、西川歩美、下司有加、東政美、鈴木成子、池上幸恵、上平朝子、白阪琢磨：HIV 感染症に関連する神経心理学的検査結果と CD4 値、ウイルス量との関連。第 27 回日本エイズ学会学術集会・総会、熊本、2013 年 11 月

吉野宗宏、矢倉裕輝、櫛田宏幸、廣田和之、伊熊素子、小川吉彦、矢嶋敬史郎、渡邊大、西田恭治、上平朝子、白阪琢磨：当院における Rilpivirine の使用成績。第 27 回日本エイズ学会学術集会・総会、熊本、2013 年 11 月

中野知沙子、矢嶋敬史郎、島陽子、森影直子、藤村龍太、倭成史、和田晃、廣田和之、伊熊素子、小川吉彦、大寺博、渡邊大、西田恭治、上平朝子、白阪琢磨、伊藤孝仁：ツルバダからエブリコムへ薬剤変更を行った HIV 感染者の腎障害に関する検討。第 27 回日本エイズ学会学術集会・総会、熊本、2013 年 11 月

矢嶋敬史郎、伊熊素子、廣田和之、小川吉彦、笠井大介、渡邊大、西田恭治、上平朝子、白阪琢磨：抗 HIV 療法開始後に甲状腺機能亢進症を呈した 13 例の検討。第 27 回日本エイズ学会学術集会・総会、熊本、2013 年 11 月

矢倉裕輝、吉野宗宏、櫛田宏幸、廣田和之、伊熊素子、小川吉彦、大寺博、矢嶋敬史郎、渡邊大、西田恭治、上平朝子、白阪琢磨：抗 HIV 薬の簡易懸濁法適用に関する検討 第 3 報。第 27 回日本エイズ学会学術集会・総会、熊本、2013 年 11 月

黒田美和、平島園子、伊澤麻未、岡本学、下司有加、上平朝子、白阪琢磨：当科における長期療法を要する患者の検討。第 27 回日本エイズ学会学術集会・総会、熊本、2013 年 11 月

安尾利彦、仲倉高広、廣常秀人、白阪琢磨、山中京子：HIV 医療におけるカウンセラーの勤務形態および臨床設定の違いによる、カウンセリング機能の明確化の試み。第 27 回日本エイズ学会学術集会・総会、熊本、2013 年 11 月

藤原良治、橋本謙、早坂典生、山田富秋、種田博之、藤原都、白阪琢磨：血友病 HIV

感染患者に対するインタビュー調査からの現状把握とカウンセリングに関する研究。第 27 回日本エイズ学会学術集会・総会、熊本、2013 年 11 月

星野慎二、井戸田一朗、日高庸晴、加藤信吾、白阪琢磨：MAM 商業施設の訪問経験がない若年層を対象にした行政・教育・医療提携による多目的支援施設のあり方の検討。第 27 回日本エイズ学会学術集会・総会、熊本、2013 年 11 月

東政美、下司有加、阿島美奈、宮本ひとみ、白阪琢磨：ブロック拠点病院に勤務する看護師の HIV/AIDS 看護に対する意識調査。第 27 回日本エイズ学会学術集会・総会、熊本、2013 年 11 月

重見麗、服部純子、蜂谷敦子、瀧永博之、渡邊大、長島真美、貞升健志、近藤真規子、南 留美、吉田繁、森治代、内田和江、椎野禎一郎、加藤真吾、千葉仁志、伊藤俊広、佐藤武幸、上田敦久、石ヶ坪良明、古賀一郎、太田康男、山元泰之、福武勝幸、古賀道子、岩本愛吉、西澤雅子、岡慎一、松田昌和、林田庸総、横幕能行、上田幹夫、大家正義、田邊嘉也、白阪琢磨、小島洋子、藤井輝久、高田昇、高田清式、山本政弘、松下修三、藤田次郎、健山正男、杉浦互：新規 HIV/AIDS 診断症例における薬剤耐性 HIV の動向。第 27 回日本エイズ学会学術集会・総会、熊本、2013 年 11 月

仲倉高広、下司有加、渡邊大、白阪琢磨：箱庭療法が奏功した HIV 陽性者の心理療法～広汎性発達障害のある HIV 陽性者の事例～。第 27 回日本エイズ学会学術集会・総会、熊本、2013 年 11 月

白阪琢磨、日笠聡、岡慎一、川戸美由紀、橋本修二、吉崎和幸、福武勝幸、八橋弘：血液製剤による HIV 感染者の調査成績 第 1 報 CD4 値、HIV-RNA 量と治療の現状と推移。第 27 回日本エイズ学会学術集会・総会、熊本、2013 年 11 月

川戸美由紀、橋本修二、岡慎一、吉崎和幸、福武勝幸、日笠聡、八橋弘、白阪琢磨：血液製剤による HIV 感染者の調査成績 第 2 報 抗 HIV 薬の組み合わせの変更と CD4 値、HIV-RNA 量の関係性。第 27 回日本エイズ学会学術集会・総会、熊本、2013 年 11 月

鈴木成子、竹村康晴、山尾美希、梅原美加子、白阪琢磨：HIV/AIDS の病名告知を受けた家族の思い～ナラティブ（語り）を傾聴することを通して～。第 27 回日本エイズ学会学術集会・総会、熊本、2013 年 11 月

大北全俊、遠矢和希、加藤譲、FranziskaKasch、花井十伍、横田恵子、白阪琢磨：HIV 感染症に関する倫理的な議論の枠組みについて—海外文献の調査に基づく研究。第 27

回日本エイズ学会学術集会・総会、熊本、2013年11月

片野晴隆、味澤篤、田沼順子、岡慎一、矢嶋敬史郎、小泉祐介、上平朝子、鯉淵智彦、岩本愛吉、横幕能行、小島勇貴、永井宏和、岡田誠治：日本におけるエイズ関連リンパ腫の病理組織分類。第27回日本エイズ学会学術集会・総会、熊本、2013年11月

矢倉裕輝、坂根貞嗣、榎田宏幸、吉野宗宏、上平朝子、三田英治、白阪琢磨：Etravirineの肝代謝酵素誘導作用により Telaprevir の血中濃度低下が疑われた1例。第27回日本エイズ学会学術集会・総会、熊本、2013年11月

渡邊大、鈴木佐知子、蘆田美紗、伊熊素子、廣田和之、小川吉彦、矢嶋敬史郎、笠井大介、西田恭治、上平朝子、白阪琢磨：大阪医療センターにおけるカポジ肉腫関連ヘルペスウイルスの抗体保有率の検討。第27回日本エイズ学会学術集会・総会、熊本、2013年11月

鍛冶まどか、仲倉高広、下司有加、東政美、鈴木成子、池上幸恵、上平朝子、白阪琢磨：HIV感染をきっかけに他者に不信感を持ったHIV陽性者の風景構成法についての検討。第27回日本エイズ学会学術集会・総会、熊本、2013年11月

小川吉彦、廣田和之、伊熊素子、矢嶋敬史郎、渡邊大、西田恭治、上平朝子、白阪琢磨：治療抵抗性を示したHIV感染症合併CD20陰性Diffuse Large B cell Lymphoma。第27回日本エイズ学会学術集会・総会、熊本、2013年11月

大寺博、矢嶋敬史郎、伊熊素子、廣田和之、小川吉彦、笠井大介、渡邊大、西田恭治、上平朝子、白阪琢磨：HIV感染者に合併した肺の腺扁平上皮癌の一例。第27回日本エイズ学会学術集会・総会、熊本、2013年11月

伊熊素子、渡邊大、廣田和之、小川吉彦、矢嶋敬史郎、笠井大介、西田恭治、上平朝子、白阪琢磨：6か月間の抗結核治療後に、免疫再構築症候群として脳結核腫の増悪を認められた症例。第27回日本エイズ学会学術集会・総会、熊本、2013年11月

廣田和之、矢嶋敬史郎、伊熊素子、小川吉彦、笠井大介、渡邊大、西田恭治、上平朝子、白阪琢磨：カポジ肉腫の治療中に新たに日和見感染症を発症した3例。第27回日本エイズ学会学術集会・総会、熊本、2013年11月

笠井大介、廣田和之、伊熊素子、小川吉彦、矢嶋敬史郎、渡邊大、西田恭治、上平朝子、白阪琢磨：大阪医療センターにおけるHIV/HCV重複感染凝固異常患者の解析。第27

回日本エイズ学会学術集会・総会、熊本、2013年11月

渡邊大、伊熊素子、矢倉裕輝、高橋昌明、柴田雅章、榎田宏幸、吉野宗宏、廣田和之、小川吉彦、矢嶋敬史郎、笠井大介、西田恭治、上平朝子、杉浦互、白阪琢磨：抗 HIV 薬の血中濃度モニタリングを行った短腸症候群の一例。第 27 回日本エイズ学会学術集会・総会、熊本、2013年11月

藤友結実子、廣田和之、米本仁史、大寺博、小泉祐介、矢嶋敬史郎、渡邊大、西田恭治、上平朝子、白阪琢磨、小澤健太郎：HIV 感染後に尋常性乾癬を発症し、サイトメガロウイルス網膜炎と梅毒感染、カポジ肉腫を合併した一例。第 27 回日本エイズ学会学術集会・総会、熊本、2013年11月

矢嶋敬史郎、井内亜紀子、黒田美和、安尾利彦、下司有加、仲倉高広、吉野宗宏、上平朝子、白阪琢磨：2012 年度における当科の新規受診患者の検討。第 27 回日本エイズ学会学術集会・総会、熊本、2013年11月

椎野禎一郎、服部純子、瀧永博之、吉田 繁、石ヶ坪良明、近藤真規、貞升健志、横幕能行、古賀道子、上田幹夫、田邊嘉也、渡邊大、森 治代、南留美、健山正男、杉浦 互：国内感染者集団の大規模塩基配列解析 4: サブタイプと感染リスクによる伝播効率の差異。第 27 回日本エイズ学会学術集会・総会、熊本、2013年11月

B-5

白阪琢磨：開業医が知っておくべき HIV 診療の最新事情。大阪 STI 研究会 第 36 回学術集会、大阪、2013年6月

渡邊大：抗 HIV 治療：最新の治療戦略について（イブニングセミナー）「日本の治療状況について」。第 87 回日本感染症学会学術講演会・第 61 回日本化学療法学会総会、横浜、2013年6月

渡邊大：大阪医療センターにおける HIV 診療の現状と抗 HIV 療法の今後の課題。第 19 回山口 HIV カンファレンス講演会、宇部、2013年6月

矢嶋敬史郎、上平朝子、藤友結実子、廣田和之、米本仁史、小泉祐介、大寺博、谷口智宏、渡邊大、西田恭治、白阪琢磨：免疫再構築症候群により治療に難渋した HIV 合併クリプトコッカス髄膜炎の 2 例。中日本地方会学術奨励賞授賞記念講演、第 56 回日本感染症学会中日本地方会学術集会、大阪、2013年11月

B-6

蘆田美紗、渡邊大、鈴木佐知子、廣田和之、伊熊素子、小川吉彦、矢嶋敬史郎、西田恭治、上平朝子、白阪琢磨：低コピー数のウイルス量における HIV 薬剤耐性検査に関する検討。第 27 回近畿エイズ研究会・学術集会、大阪、2013 年 6 月

矢嶋敬史郎：HIV 感染症の新たな幕開け - STR レジメンの登場 - 。第 56 回日本感染症学会中日本・西日本地方会・学術総会、大阪、2013 年 11 月

小川吉彦、廣田和之、伊熊素子、矢嶋敬史郎、笠井大介、渡邊大、西田恭治、上平朝子、白阪琢磨：免疫再構築症候群として結核性腹膜炎を発症した HIV 感染症の一例。第 83 回日本感染症学会西日本地方会・学術集会、大阪、2013 年 11 月

B-8

西田恭治：変遷する血友病合併症とその対応。第 9 回中国血友病治療セミナー、岡山、2013 年 4 月

西田恭治：ベネフィクスの本邦使用状況と自験例。ベネフィクス web シンポジウム、大阪、2013 年 4 月

西田恭治：より良い家庭治療を目指して～患者さんと共に考える～。Baxweb 公開セミナー、大阪、2013 年 4 月

白阪琢磨：HIV 感染症/AIDS について。大阪大学医学部 病理学講義、大阪、2013 年 5 月

白阪琢磨：シーエルセントリの使用症例像。MSD 座談会、福岡、2013 年 5 月

白阪琢磨：HIV/AIDS 基礎知識～医療と最新の治療について。平成 25 年度 HIV/AIDS 基礎研修（大阪府保健所及び豊中市の医師・保健師）、大阪、2013 年 5 月

上平朝子：感染症コース「HIV 感染症」。関西医科大学 3 学年 講義、大阪、2013 年 5 月

西田恭治：薬害エイズ。平成 25 年度 大阪大学医学部 環境医学・公衆衛生学実習、大阪、2013 年 5 月

上平朝子：女性と HIV。平成 25 年度 大阪大学医学部 環境医学・公衆衛生学実習、大

阪、2013年5月

白阪琢磨: HIV 感染症/AIDS。平成 25 年度 大阪大学医学部 環境医学・公衆衛生学実習、大阪、2013年5月

矢嶋敬史郎: KS,HIV 脳症と PML。平成 25 年度 大阪大学医学部 環境医学・公衆衛生学実習、大阪、2013年5月

白阪琢磨: HIV の最新治療。厚生科研エイズ対策研究事業 第 6 回 HIV サポートリーダー養成研修、大阪、2013年6月

白阪琢磨: HIV/AIDS の基礎知識 (疾患・治療・職務感染予防について)。厚生科研エイズ対策研究事業 訪問看護師研修会、大阪、2013年6月

西田恭治: 思春期から若年成人期の血友病対応。第 4 回京滋小児血友病研究会、京都、2013年6月

渡邊大: HIV 診断と急性感染。平成 25 年度 大阪大学医学部 環境医学・公衆衛生学実習、大阪、2013年6月

廣田和之: CMV 感染症。平成 25 年度 大阪大学医学部 環境医学・公衆衛生学実習、大阪、2013年6月

白阪琢磨: HIV 陽性者の人権問題 HIV と AIDS HIV をとりまく現状とその課題について。大阪府人権総合講座 (人権総合相談員育成 基礎コース)、大阪、2013年7月

白阪琢磨: HIV 陽性者の人権問題 HIV と AIDS HIV をとりまく現状とその課題について。大阪市人権総合講座 (人権総合相談員養成研修)、大阪、2013年7月

白阪琢磨: HIV/AIDS の現状・最新治療および HIV 感染者の一般診療について地域病院に期待すること。HIV 陽性者支援事業 HIV/AIDS 研修会、箕面、2013年7月

西田恭治: パネルディスカッション座長 (表題なし)。第 5 回大阪ヘモフィリアフォーラム、大阪、2013年7月

西田恭治: 取材、校閲 (表題なし)。Hemophilia Topics Vol.31、大阪、2013年7月

白阪琢磨：HIV/AIDS 診療の最前線～最新治療からスピリチュアルケアまで～。AIDS 文化フォーラム in 横浜、横浜、2013 年 8 月

西田恭治：血友病の最新治療について。中国・四国ブロック在住患者・家族向け医療相談会、愛媛、2013 年 8 月

白阪琢磨：HIV/エイズの現状と最新医療～地域医療との連携について～。大津市保健所・大津市医師会共催 感染対策従事者研修会、滋賀、2013 年 9 月

西田恭治：HIV 感染症の最近の動向。北陸ブロック医療等相談会、福井、2013 年 9 月

笠井大介：ニューモシスチス肺炎。平成 25 年度 大阪大学医学部 環境医学・公衆衛生学実習、大阪、2013 年 9 月

小川吉彦：悪性腫瘍、針刺し予防。平成 25 年度 大阪大学医学部 環境医学・公衆衛生学実習、大阪、2013 年 9 月

西田恭治：国内外の血友病治療の現状。第 3 回血液製剤メディアセミナー、東京、2013 年 9 月

上平朝子：近畿ブロックの現状報告-行政との連携の重要性について-。第 117 回岡山 HIV 診療ネットワーク研究会 講演、岡山、2013 年 9 月

矢嶋敬史郎：HIV 感染症診療と物質依存。第 6 回道央圏 HIV 感染症セミナー、札幌、2013 年 9 月

矢嶋敬史郎：簡単にわかるエイズ診療。平成 25 年度四国地方エイズ拠点病院 コミュニケーションスキル向上のための会議、愛媛、2013 年 9 月

白阪琢磨：疫学と抗 HIV 治療ガイドライン。平成 25 年度 HIV 感染症研修会、大阪、2013 年 9 月

渡邊大：HIV 感染症の診断。平成 25 年度 HIV 感染症研修会、大阪、2013 年 9 月

笠井大介：日和見感染症（1） PCP・抗酸菌、平成 25 年度 HIV 感染症研修会、大阪、2013 年 9 月

上平朝子：母子感染予防 / 針刺し暴露後対策。平成 25 年度 HIV 感染症研修会、大阪、2013 年 9 月

矢嶋敬史郎：日和見感染症（2） CMV・中枢神経。平成 25 年度 HIV 感染症研修会、大阪、2013 年 9 月

小川吉彦：日和見感染症（3） 日和見悪性腫瘍。平成 25 年度 HIV 感染症研修会、大阪、2013 年 9 月

西田恭治：血友病診療・凝固因子製剤の使い方。平成 25 年度 HIV 感染症研修会、大阪、2013 年 9 月

渡邊大：HIV/AIDSの基礎知識。平成25年度HIV/AIDS看護師研修 初心者コース、大阪、2013年9月

白阪琢磨：HIVの最新治療。厚生科研エイズ対策研究事業 第7回HIVサポートリーダー養成研修、大阪、2013年10月

白阪琢磨：日本人HIV感染者の将来を見据えた治療マネジメント。Conference on Aging and Non-AIDS Complications 2013、東京、2013年10月

白阪琢磨：中核拠点病院としての役割について。和歌山県医療従事者向けエイズ対策研修会、和歌山、2013年10月

上平朝子：HIV 診療の医療体制。平成 25 年度 HIV 感染症医師・看護師実地研修会(1 ヶ月コース)、大阪、2013 年 10 月

矢嶋敬史郎：日和見感染症診療・HIV 脳症、PML。平成 25 年度 HIV 感染症医師・看護師実地研修会(1 ヶ月コース)、大阪、2013 年 10 月

矢嶋敬史郎：日和見感染症診療・カンジタ症、クリプトコッカス症他。平成 25 年度 HIV 感染症医師・看護師実地研修会(1 ヶ月コース)、大阪、2013 年 10 月

西田恭治：薬害HIV・血友病診療。平成25年度HIV感染症医師・看護師実地研修会(1ヶ月コース)、大阪、2013年10月

白阪琢磨：HIV感染症の疫学・抗HIV療法の考え方。平成25年度HIV感染症医師・看護師実地研修会(1ヶ月コース)、大阪、2013年10月

笠井大介：日和見感染症診療・ニューモシスチス肺炎。平成25年度HIV感染症医師・看護師実地研修会(1ヶ月コース)、大阪、2013年10月

笠井大介：HIV曝露後対策。平成25年度HIV感染症医師・看護師実地研修会(1ヶ月コース)、大阪、2013年10月

渡邊大：HIV感染症の診断。平成25年度 HIV感染症医師・看護師実地研修会(1ヶ月コース)、大阪、2013年10月

廣田和之：日和見感染症診療・CMV感染症。平成25年度 HIV感染症医師・看護師実地研修会(1ヶ月コース)、大阪、2013年10月

渡邊大：抗HIV療法の変更と薬剤耐性。平成25年度 HIV感染症医師・看護師実地研修会(1ヶ月コース)、大阪、2013年10月

小川吉彦：日和見感染症診療・カポジ肉腫。平成25年度 HIV感染症医師・看護師実地研修会(1ヶ月コース)、大阪、2013年10月

小川吉彦：日和見感染症診療・日和見悪性腫瘍。平成25年度 HIV感染症医師・看護師実地研修会(1ヶ月コース)、大阪、2013年10月

上平朝子：免疫再構築症候群（IRIS）。平成 25 年度 HIV 感染症医師・看護師実地研修会(1ヶ月コース)、大阪、2013年10月

渡邊大:HIV 急性感染。平成 25 年度 HIV 感染症医師・看護師実地研修会(1ヶ月コース)、大阪、2013年10月

廣田和之：STD（性行為感染症）の診療。平成25年度 HIV感染症医師・看護師実地研修会(1ヶ月コース)、大阪、2013年10月

伊熊素子：日和見感染症診療・抗酸菌症。平成25年度 HIV感染症医師・看護師実地研修会(1ヶ月コース)、大阪、2013年10月

渡邊大：HIV/AIDSの基礎知識。平成25年度HIV/AIDS看護師研修 初心者コース、大阪、2013年10月

西田恭治：血友病の病態とその治療 過去・現在・未来。コーディネイト 20周年記念セミナー、大阪、2013年10月

西田恭治：来年度のバイエルヘモフィリアセミナーに関する打合せ及び今後の運営等。バイエル ヘモフィリア セミナー世話人会、名古屋、2013年10月

矢嶋敬史郎：HIV感染症の基礎。第3回エイズ文化フォーラム in 京都、京都、2013年10月

伊熊素子：抗酸菌症。平成25年度 大阪大学医学部 環境医学・公衆衛生学実習、大阪、2013年10月

白阪琢磨：現代的健康課題について。平成25年度新規採用養護教諭研修、大阪、2013年11月

白阪琢磨：AIDS is going to lose キードラッグの果たす役割。ヤンセンファーマ HIV Products 記念講演会、熊本、2013年11月

白阪琢磨：大阪における HIV 感染の現状。RED RIBBON LIVE 2013 in OSAKA、大阪、2013年11月

西田恭治：血友病診療と Aging Care、第4回大阪ヘモフィリア看護懇話会。大阪、2013年11月

上平朝子：HIV/AIDS の現状・最新治療および HIV 感染者の一般診療について地域病院に期待すること。HIV 陽性者支援事業（大阪府池田保健所）第2回 HIV/AIDS 研修会 講演、大阪、2013年11月

白阪琢磨：労働者のための HIV 感染症の知識。大阪府医師会主催「感染症対策に関する研修会」、大阪、2013年12月

白阪琢磨：感染症患者の看護 HIV 感染症・治療。大阪赤十字看護専門学校成人看護学 IV援助論Ⅱ講義、大阪、2013年12月

白阪琢磨：公衆衛生看護学Ⅰ。大阪府立大学後期授業、羽曳野、2013年12月

白阪琢磨：HIVについて。長浜バイオ大学バイオサイエンス学部アニマルバイオサイエンス学科「感染生物学」講義、滋賀、2013年12月

白阪琢磨：HIV/AIDSの基礎知識（疾患・治療・職務感染時の対応）。厚生科研エイズ対策研究事業 訪問看護師研修会、郡山、2013年12月

西田恭治：血友病の現状について〈治療・遺伝・保因者診断など〉。平成25年度たんぽぽの会交流会、京都、2013年12月

西田恭治：血友病の基礎と臨床、バイパス製剤に対する評価、第Ⅷ因子に対する期待について。臨床講座、東京、2014年1月

渡邊大：HIV感染症の日常診療の疑問と大阪医療センターの現状。第5回沖縄HIV臨床カンファレンス、沖縄、2014年1月

上平朝子：HIV感染症の基礎知識。平成25年度奈良県立医科大学健康政策医学実習、2014年1月

笠井大介：HIVと呼吸器感染症。平成25年度奈良県立医科大学健康政策医学実習、2014年1月

渡邊大：HIV感染症の診断。平成25年度奈良県立医科大学健康政策医学実習、2014年1月

西田恭治：血友病診療。平成25年度奈良県立医科大学健康政策医学実習、2014年1月

矢嶋敬史郎：カポジ肉腫。平成25年度奈良県立医科大学健康政策医学実習、2014年1月

小川吉彦：悪性リンパ腫。平成25年度奈良県立医科大学健康政策医学実習、2014年1月

白阪琢磨：HIV感染症の疫学。平成25年度奈良県立医科大学健康政策医学実習、2014年1月

伊熊素子：HIVと結核。平成25年度奈良県立医科大学健康政策医学実習、2014年1月

廣田和之：HIVの眼疾患/CMV。平成25年度奈良県立医科大学健康政策医学実習、2014年1月

白阪琢磨：エイズから学ぶ感染症の克服と共存のための社会構築について。名古屋医療センター主催「第6回市民公開シンポジウム」エイズ無き時代を目指して～過去から未来へ～、名古屋、2014年2月

白阪琢磨：「新しい治療ガイドライン－HIV初感染・妊婦の治療、針刺し予防も含めて－」。『HIV感染症とAIDSの治療』5巻1号座談会、東京、2014年2月

白阪琢磨：HIV/AIDSの現状。大津HIV講演会（大津赤十字病院・大津市医師会・ヴィーブヘルスケア(株)共催）、大津、2014年3月

西田恭治：血友病保因者のサポート-保因者の検診について－。第7回姫路血友病・血栓止血ネットワーク講演会、兵庫、2014年2月

上平朝子：HIV感染症の基礎。医療法人道仁病院研修、大阪、2014年2月

西田恭治：教科書にはない血友病診療で見逃されやすいポイント。兵庫県血友病学会、兵庫、2014年3月

矢嶋敬史郎：HIV感染症の治療について。平成25年度NGO指導者研修会、大阪、2014年3月

矢嶋敬史郎：新規薬剤が治療環境に与える影響について。アドバイザリーボードミーティング、大阪、2014年3月

矢嶋敬史郎：HIV診療について最近の話題。北陸HIV感染者症例検討会、金沢、2014年3月